

第6次斜里町総合計画策定委員会 第16回部会長会議 記録

- 1、日 時 平成25年12月3日(火) 18:30~22:00
 - 2、場 所 道の駅 しやり コミュニティールーム
 - 3、出席者 別紙にて

 - 4、内 容
 - ・Ⅲ-4 財政計画の「算定の根拠」の表現を含め、事務局に一任となった。
 - ・墓地に関する項目を、まちなみ部会「3-1-1 都市機能の整備」の5つめの単位施策として入れ込む事とし、全体会前にまちなみ部会員に周知する事とした。
 - ・町民参加・協働の指標の確認作業を行った。
 - ・資料3P21~23の内容は、3日午前中までに事務局が作成し部会長に4日朝までに確認してもらう事とした。
 - ・7次計画に向けた、6次計画策定の反省や意見は次回部会長会議開催時にそれぞれ持ち寄り議論する事となった。(次回部会長会議は未定であり、必要に応じて開催する事とした)
-

●会議内容<要旨>

1.開会

- ・門間部会長の進行で行われた。

2.委員長挨拶

- ・策定作業も大詰めとなってきた、明後日の提言に向け確認作業をお願いしたい。

3.報告

(1) 会議開催結果等

みどり部会(下山部会長)

- ・11/27に部会を開き、文言修正、重点施策選定、町民参加の指標付け作業を行った。

くらし部会(戎居部会長)

- ・11/28に部会を行い、重点施策、成果指標などを中心に議論を行った。まだまだ時間が必要であり議論を尽くせていない感じはあるが、まとめた。

いきいき部会(梅村部会長)

- ・11/28に16回目の部会を行った。重点施策、町民参加の指標付けを行った。一部成果指標の変更を行い、成果指標の数字の方向性を部会で確認を行った。

まちなみ部会(元木部会長)

- ・部会を開く予定であったが、墓地の項目が、くらし部会にいく事となった様であったため、部会を開き議論する項目が無かったため、開催はしていない。重点施策は部会長一任となったため選んだ。

ちょうみん部会(代理:清水委員)

- ・部会を開き、委員全員で内容の確認を行った。明後日の全体会は正副部会長ともに欠席する為、説明は宍倉委員が行う事となった。

しごと部会(高橋部会長)

- ・11/26に部会を行い、重点施策を委員全員の一致で選出した。町民参加、成果指標についても議論を行い提示するに至った。

まなび部会

- ・部会を行い町民参加の指標を決めた。家庭と学力向上は両輪であるとの結論に至ったため、重点施策は1つに絞りきれなかった。

4.議 事

(1) 提言書（案）の確認

事務局より資料3～資料4を用い、説明を行った。

<説明要旨> 資料3

- ・まだ、完成とは言えない形であり、修正する必要がある所がある。
- ・P10 I-8 計画の変更において、本日内部会議を開き議論を行った。町長が選挙で掲げたマニフェストと総合計画（重点施策）の関連について議論を行った。当選＝民意を得たものと理解する事が出来るので、従前の考え方で追加する際には、町民を入れた会議等にかける必要があるとしていたが、民意を得ているものとして議会にかけられる内容にしている。従前は総合計画とマニフェストは別モノとして扱っていたが、関連づける方が自治基本条例の精神に即した形になるのではないか。
- ・P10 下から8行目の「重要施策項目」とあるが「重点施策項目」に修正します。
- ・P12 II-1 は現在箇条書きになっているが、文章にします。
- ・P14 II-2 は文章量のバランスを取ります。
- ・P24 III-4 「財政計画」 は新たに入れた項目である。今後10年の入り払いの見通しを記載している。単位は百万円である。
- ・P26 III-5 「重点プロジェクト」大型プロジェクトの定義で「一般財源必要額が1億円」となっているが「3億円」に訂正します。
- ・P28 連携施策は内部で議論した結果、おく事とした。今後、施策実行に際し連携して行う事を指している。
- ・P30 重点施策が解るように表現していきたい。
- ・P32 III-7 「計画全体の主要指標」 人口は最新の将来人口推移データを基に図示しており、目標を数値であらわす事はせず、管理、注視していく表現にしている。
- ・産業においても、農・漁・観光業の数値を把握する意味を込めて記載している。

<資料3>についての主な意見

- ・P10 重点施策の追加について、町長選で新しい施策を掲げて当選したのであれば、民意を経て当選しているので、再度町民を交えた追加についての議論は必要ないのではないか。町長が変わった時に重点施策が変わる可能性はあるのではないか。
→策定過程を考えると、考えにくいのではないか。
- ・大型事業項目を変更する際にも、議会への提出だけでいいものか気になる所ではある。
→前回部会長会議で提示したものと変えてはいないものである。
→大型事業変更も、選挙時民意を得ているものなら問題は無いと思うが。
→あまり変更がある所ではないと思う。しょっちゅう変更があっては困る項目ではある。
→内容については、事務局一任で良いのではないか。
※内容は現状のまま、表現を解りやすくすることで事務局一任となった。

・P21～23 の文章であるが、事務局が作成し部会長に確認としているが、いつ出来上がるのか。
→3日のお昼までにメールにて送付するので、4日の朝までに修正などの確認をお願いしたい。

- ・P24 III-4 財政計画は大きく変わる可能性はあるのか。
→試算の基礎部分の説明を解りやすく記載したいと思っている。
- ・一見、一般の町民には解らないのではないか。詳細にこの様に記載するのが良いものか、ザックリ書くのが良いものか、難しい項目ではある。
- ・財政計画の項目で記載して良い内容であるか。見通しなので。
- ・注釈などの説明が必要な項目ではないか。

→広く一般町民向けの情報ではなく、この策定委員のように町政に関わってくれそうな町民に対しての情報としているのではないか。

- ・総合計画に記載する主旨（財源や収支の見える化）をしっかりとらえ、文言修正などした方が良いのではないか。
- ・このままの表現で良いのではないか。表現、修正については事務局に任せて良い項目ではないか。

※表現の検討を含め、事務局一任となった。

- ・まなび部会の重点施策はいかがするのか。

→部会議論では、2つから1つに絞れなかった。両者とも強く関連する項目であり、家庭と学力向上は両輪の様な内容であったため、優劣をつけられない経緯がある。部会では両社とも重要であるとの結果になった。

→部会の想いは理解できるが、どちらか選択する必要がある。

※議論を重ねた結果「6-1-1 教育内容の改善と向上」を重点施策とする事となった。

- ・P28 連携施策の関係する施策で◎の表現があるが、重点施策の事か。

→核となる施策を表しているが、紛らわしいので○の表現にします。

- ・P29 連携施策のエネルギーだけ何か違和感がある。

→今後10年間の間で話題に挙がる可能性が大きいと判断し記載している。

→文末の表現が、この項目だけ異質であり統一を図った方が良いのではないか。内容も併せて検討した方が良いのではないか。

※内容、文末の表現を検討する事で、事務局一任となった。

- ・連携施策で多くの部会で文言として出てきていた「地域」を扱えないものか。

→連携施策を検討する段階で「地域づくり」等の項目もあったが、範囲が広すぎて内容が薄まってしまう事から扱えなかった経緯がある。

→「コミュニティの強化」などの文言で整理は出来ないか。

→時間的に限られているので、これから事務局が作業を行っても間に合わず、良いものに成り難いのではないか。

※事務局で検討する事とした。

<資料4>についての主な意見>（町民参加・協働の指標について）

- ・アイコンの意味は理解できるが、理解に時間がかかるのではないか。再考を願いたい。

→検討します。

しごと部会

- ・2-2-1② 2-2-2②現在☆は1つであるが、観光基本計画の核になる項目であり計画では協働を掲げているので☆は2つが妥当ではないか。

→☆2つにします。

いきいき部会

- ・5-4-1③ ☆がついていないが「地域」の協力もあり得るので☆1つが妥当ではないか。

→地域の広がりを期待して☆1つにします。

- ・5-4-2① ☆はついていないが、子供子育て会議もあるので☆1つが妥当ではないか。

→☆1つにします。

まなび部会

- ・6-1-2⑤ ☆はついていないが、地域住民の理解のもと行われるものであり、☆1つが妥当ではないか。

→☆1つにします。

・6-1-2⑥ も同様な考えで☆1 つになるのではないかと。アンケートを実施しているので。
→☆1 つにします。

・6-3-2② 指導者は特定の範囲であるので☆1 つが妥当ではないかと。
→☆1 つにします。

・6-3-2③ 同様な考えで☆1 つが妥当ではないかと。
→☆1 つにします。

・6-3-3① 施設整備に町民の協働が不可欠とは言えないのではないかと。☆1 つが妥当ではないかと。
→☆1 つにします。

・6-3-3④ ☆2 つの事業なのか。学校支援の強化なので。
→ボランティアの人を増やしていく内容も記載しているので☆は2 つと考えている。

・6-3-4① ☆2 つにしているが、施設の整備に広く町民参加、協働は不可欠と言えるかと。広くとらえても利用者の参加ではないかと。利用者は町民参加とは言えないのではないかと。
→☆1 つにします。

・6-3-4② 6-3-4①と同様に☆1 つが妥当ではないかと。
→☆1 つにします。

・6-3-4③ 博物館で姉妹町・友好都市との交流は見えづらいので☆1 が妥当ではないかと。
→☆1 つにします。

<提言書全体に係る主な意見>

- ・「墓地の項目」の行先はどうする事にしたのか。
→くらし部会かまちなみ部会に入れ込みたいと思っている。
 - 行政判断があつてしかるべきモノであると思うので、事務局で入れ込んでも良いのではないかと。入れ込む部会への事前通知（提言書提出前）は必要になる。
 - まちなみ部会の3-1-1に単位施策に新しく⑤に「墓地の項目」を入れさせていただきたい。
 - 部会議論では、整備がされており項目として不要であるとの判断に至った経緯がある。
 - 今後の事業で「墓地の整備」が出てくるものであり、まだ墓地整備は終わっていないという、行政側の想いがあるので、理解して頂きたい。
 - 部会長の一任で判断できないので、部会員への伝達が必要である。
- ※くらし部会員への通知を行う事で、墓地の項目は事務局に一任となった。

(2) 12/4 全体会議の進行 資料5～資料6

資料5について、作成者である門間副委員長より説明があつた。

<資料5について主な意見>

- ・来賓挨拶とあるが、副委員長の説明であつたように、町長の扱いをどうした方が良いのか。
 - 提言の依頼者であるので、来賓には当たらないのではないかと。
 - 参加者の立場で良いのではないかと。
 - ・「4 総合計画の提言書について」は「委員長挨拶」の内容と重複してしまうので、削除しても良いのではないかと。
 - 削除します。
 - ・今後のスケジュール（施行まで）の説明はあつた方が良いのではないかと。
 - 今後のスケジュールは提言書とは別に事務局で作成し、総合計画内容説明の際に副委員長から説明する事を願いたい。
- ※当時までに、資料を事務局で作成する事となった。

<資料6について主な意見>

- ・2.策定組織及び策定経過とあるが、提言書とは別に事務局で作成し、提言書と一緒に渡すもの

であるか。

→自治基本条例提言の際にあったモノであるが、今回は必要かどうか意見を聞きたい。

→別冊で部会の記録等をつけるのであれば、作業が膨大ではないか。本日の資料1程度のもので良いのではないか。

→特に必要はないのではないか。

※議論の結果、策定経過等は添付しない事となった。

(3) その他

7次計画策定に向けた、6次策定経過等に対する意見等

※事務局より意見をもとめたが、議会の動き次第ではあるが恐らく部会長会議レベルの会議は今後行われる可能性が大きいのではないかと、意見があったため次回の会議での議案とする事となった。(今後の審議次第であり、次回部会長会議は未定)

以上

(22:00 終了)

第6次斜里町総合計画策定委員会 第16回部会長会議 出席者名簿

◇ 委員 ◇

| 役 職 | 氏 名 | 出 欠 | 備 考 |
|----------|-------|-----|---------|
| 委員長 | 三浦 勝利 | ○ | |
| 副委員長 | 門間 哲也 | ○ | |
| みどり部会長 | 下山 誠 | ○ | |
| しごと部会長 | 高橋 秀典 | ○ | |
| まちなみ部会長 | 元木 誠二 | ○ | |
| くらし部会長 | 戎居 桂三 | ○ | |
| いきいき部会長 | 梅村真由美 | ○ | |
| まなび部会長 | 近藤 将人 | ○ | |
| ちょうみん部会長 | 武山 俊一 | ○ | 代理 清水委員 |

◇ 事務局 ◇

| 役 職 | 氏 名 | 出 欠 | 備 考 |
|--------|-------|-----|-----|
| 総務部長 | 北 雅裕 | ○ | |
| 企画総務課長 | 馬場 龍哉 | ○ | |
| 企画係長 | 河井 謙 | ○ | |
| 企画係 | 竹川 彰哲 | ○ | |
| 企画係 | 塩 幸也 | ○ | |

◇ オブザーバー ◇

| 役 職 | 氏 名 | 出 欠 | 備 考 |
|-----|-----|-----|-----|
| | | | |
| | | | |
| | | | |

◇ 一般傍聴 ◇

| 所 属 | 氏 名 | | 備 考 |
|-----|-----|--|-----|
| | | | |
| | | | |
| | | | |